

経済建設委員会会議録

平成25年6月18日

15時16分

開会

15時31分

閉会

網走市議会

午後 3 時 16 分 開会

○佐々木委員長

それではただいまより経済建設委員会を開催いたします。

議件としましては、前回の委員会におきまして、陳情第 10 号札幌航空交通管制部の存続充実を求める陳情に対しまして、全会一致で採択ということになりましたが、文案について簡潔にという意見がありまして、正副に文案をとということでしたので、今回つくらせていただきましたので、まず皆様に御一読いただいて御意見をいただきたいと思います。

少し時間をどうぞ。

○工藤委員

先般の委員会で札幌航空交通管制部の存続、これに対しての審査の結果、結審されて文言整理だけになっていることを認識しておりますがね。

私自身が錯誤の認識の中で審査してしまった感じが否めないのですよ。

それでこの紋別との管制官の合理化とかそういったものに類似しているのかと思ったら全く似て非なる状況というか、札幌航空交通管制部というのは札幌の町中であって、決して飛行機を一機も見ることがないのです。

いわゆる J R で言ったら駅の発着、これは紋別とか女満別の航空管制。千歳は防衛省の管轄でやっています。

ところが航空交通管制官そのものというのは国土交通省であって、防衛省も一切関係ない。

そしてあれは航路を認識する機関らしいので、正直言ってはっきりしたところがわからないのですが。

そうすると、J R でいうと線路を見ないで列車の運行管理している。レーダーとかそういったもので管理している。紋別やなんかは駅員が駅の汽車の発着を管理していると、そういう状況の中でただの統廃合だとしたら、紋別の統廃合というのは本当に雪とかそういった交通の場で目視するところだからより大事なので、むしろこっちは今補完されるものがあるから合理化しようとして

いるのではないかという気があるのですよ。

そうだとしたら、もう一回これ精査させてもらえないものかという僕の言い方です。

○佐々木委員長

工藤委員のほうから認識が少々違ったことで前は賛成をしたけれども、これはちょっと認識が違っていたということで、もう少し精査する時間をいただけないかという意見が出ておりますけれども、ほかの皆さんいかがでしょうか。

○山田(庫)委員

委員長はどう思いますか。

○佐々木委員長

まず皆さんの意見聞かせていただかないと。

私の意見というのはそのあとの問題だと思えます。

○山田(庫)委員

今、工藤委員からいろいろな誤解といいますか認識にちょっと違いがあったので、要するにもう一度審査させてくれという意味なのか、その辺がはっきりわからないのですが、一事、委員会とはいえ採決をしていますから、それを一事不再議まで私言っているのかどうかですが、その辺にならないのかということも含めて、私としては一回決定しているわけですから、厳しく言えばその時点で、もう少し時間いただけないか継続ということでしたらまた審査の仕方あったと思いますけれども、ぜひここはこういうことがやはりこれからも余らないようにということも含めて、私は肅々と進めるべきかなとこのように思います。

○工藤委員

一事不再議という問題に関しましては、市議会では委員会に関して本会議と性格が異にしていることから、一事不再議が厳格にこれを適用しない解釈をとり、そのために委員会の規定中から除かれて、委員会審査の中に一事不再議という言葉は載せなかったと言われています。

ですから、本会議で決定したのに関して覆すに当たっては、本会議でも一事不再議を覆すことができるよと、ですけども一事不再議は条例、予算、意見書、決議、請願、陳情の順によって議決され

ると、低いものはこれには拘束されるとの説もある。というこれ本会議で決定した。

委員会ではそういうことございませんよ、ということで委員会には載せませんということになっているのです。

だから一事不再議、ただ確かに一回結審してあるものは、これはもう厳粛にするべきだというのは僕もでございます。

その中で余りにもちょっとこれは、こういうこととしてたらいけないのかな、たまたま文言整理でもう一回あるということで、今提案させてもらっただけで、たいていの場合これは全会一致と言いますけれども、これは大方の多数でこれはやっぱり不向きだなとされれば、僕自身も問題提起だけで下がろうと思っています。

○佐々木委員長

今、そのようなやりとりを聞いてほかの委員の方はどうでしょうか。

○山田(庫)委員

工藤委員からあったようにここで私も議論して、ガンガンやるつもりはないのですが、ただ一事不再議という話も私させてもらいましたけれども、それは自治法上とかいろいろな議会の取り決めとかいろいろな中で、そういう整理されているのでしたら、それは一つ理解するにしても、ただ委員会は、そういう形に該当しないという言い方もありますけれども、私は網走市議会として今まで委員会として、そういう経過も事実もないわけですし、私は委員会の決定というのは私は重んじて、ただ本会議ではどうなるかわかりません。

もしかしたら否決される場合もあるかもしれませんが、委員会としては前回のときに、全会一致ということで委員長が整理したという経過があるわけで、工藤委員として確かに文言の整理をしたいということなので、こういう時間があったのでという言い方ありましたけれども、それは工藤委員から言わせればあの場で決まっていて、文面の整理もなければあそこでもう採択ですから、再審査という今の状況なかったわけですが、こういう機会があったので、お話をさせていただいた

ということなのですが、もし委員長にお願いできるのならば、ほかの委員皆さんが賛成すれば、私はどうなのかということは一つの結論じみたことは言えませんが、私はそれはやはりあるべきことではないというふうにいわせていただきたいと思います。

○佐々木委員長

では、その他の委員の皆さんいかがでしょうか。

○栗田委員

工藤委員にお尋ねをしたいのですが、先ほどの説明にあったように札幌市内にあるこの管理局が特殊なものであって、今回の陳情に対しては、なじまないということの意味がちょっと私は理解できないのですが、どうしてそういうことになるのかなとお聞きしたいのですが。

○工藤委員

千歳空港の中の一部と同じような認識であったということ。

そうではなく、これはあくまでも飛行機一機見ることなくレーダーでやっているのか、そういった中で航空路線の管理をしているとこだけだ。

そうしたらそれは東京でもどこでも今できる、補完ができるはずだと。

だから合理化を求めているのではないのかという言い方です。

○栗田委員

わかりました。

わかったのですが、そもそもこの陳情を採択する段階では、そういうことも含めた意味で皆さん認識を持って採択をしているはずで。

それが特殊だからそれは東京でできるよという議論に入っていくと全く根底から変わってしまうのと、本題に戻すと私も法令の委員会の位置づけは別にして、もう一度決まったことを覆すためにはよほどの理由がない限り、それは委員会としてはやるべきではないというふうに感じています。

○佐々木委員長

ほかの意見ございますか。

○古都委員

私も、1度前回ので採択していますし、前回はわざわざ陳情者も確かいらっしゃった中で採択している中で、今もってまたそのときに全会一致したものが覆るというのはちょっと願意と違うのではないかなと思いますし、私は翻す気もないのでそのままでいいかと思います。

○佐々木委員長

小澤委員いかがですか。

○小澤委員

私は変わらず採択ということでもいいです。

○佐々木委員長

では皆さんの意見を伺いましたところ、工藤委員からのお話に関しては、一度委員会として採択したものであるということがほかの委員の皆さんの主な意見ですので、これはこのまま採択してこの意見書案を皆さんに御一読いただいて、最後皆さんの御了解いただくようにしたいと思いますので、一読いただきたいと思います。

少し時間をとらせていただきます。

皆さんよろしいでしょうか。御一読いただけただけでしょうか。

○古都委員

ものすごく細かいことなのですけども、最後の2のところ「航空行政を充実するために」と本来あったものが「させるために」にちょっと変わってましたけど、なぜ変えたのかなと。

そのところ。

○佐々木委員長

大変失礼いたしました。

そこまで細かいチェックを私自身がしておりませんでした。

確かに、記の2の部分で「広大な北海道の航空行政を充実するために国の出先機関である札幌航空交通管制部を充実させること」という記でしたね。

ここは改めまして、するためにという陳情者の提出どおりの言葉に改めなければいけませんね。

そのほかございますか。

(「なし」の声あり)

○佐々木委員長

これで皆さん異論がなければ、今回の議会に上程をしたいと思いますのでそのように決定したいと思いますよろしくお願いします。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木委員長

このようにさせていただきたいと思います。

そのほか何か案件があるようでしたら、特にないでしょうか。

(「なし」の声あり)

○佐々木委員長

以上で経済建設委員会を終了いたします。

午後3時31分 閉会